

平成 18 年 8 月 28 日

関係各位

東京大学空間情報科学研究センター
センター長 柴崎亮介

2006年度 東京大学空間情報科学研究センター 年次シンポジウムのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当センターの活動にご高配賜り、誠にありがとうございます。

さて、当センターでは 2006 年度の年次シンポジウム(CSIS DAYS 2006)を 2006 年 10 月 4 日～5 日の 2 日間、本学柏キャンパスにて開催することになりました。皆様方にぜひともご参加いただきたく、ここにご案内差し上げる次第です。

今年度より当センターは全国共同利用施設となりました。これも皆様のお力添えによるものと深く感謝しております。当センターでは今後とも空間情報科学の深化・発展・普及に向け、よりいっそうの努力をいたす所存です。今回の年次シンポジウムは、全国共同利用化の旗揚げにふさわしい内容となることを目指しております。

つきましては、下記のシンポジウム開催要領、プログラム(暫定版)をご確認の上、参加をご検討いただければ幸いです。ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記担当までご連絡お願いいたします。

末筆ながら、皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

敬 具

記

東京大学 空間情報科学研究センター 第9回 年次シンポジウム CSIS DAYS 2006 開催要領

日時：2006年10月4日(水) 9:30～17:30 全国共同利用施設記念祝賀会 18:00～19:30
5日(木) 9:30～18:00

受付は各日とも9:00開始です。

場所：東京大学 柏キャンパス 総合研究棟6階 大会議室

地図 http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/about_csis/location.html

当センターのある建物の6階が会場となります。

参加費： 無料

参加申込方法： 以下のホームページからお申し込みください。

<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/sympo2006/>

(定員を大きく超える場合、参加申込を締め切らせていただくことがあります。)

資料、座席は十分に準備いたしますが、万が一の場合は予めご了承ください)

(お問合せ先) 東京大学 空間情報科学研究センター
第9回シンポジウム受付係

TEL: 04-7136-4291 FAX: 04-7136-4292

E-mail: csisdays06-office@csis.u-tokyo.ac.jp

以 上

2006年10月4日(水): 初日のプログラム(暫定版)

— CSIS DAYS 2006 —

- 9:30～ 9:40 開会のあいさつ
- 9:40～12:00 「CSIS 研究活動紹介」セッション
センター紹介, 個人研究紹介, 研究プロジェクト紹介
- 12:00～13:30 昼食休憩
- 13:30～15:30 「招待講演」セッション
- 13:30～14:30 【招待講演 1】
「民族情報学と文化資源の時空間的処理」
久保 正敏(国立民族学博物館 文化資源研究センター 教授)
- 14:30～15:30 【招待講演 2】
「ユニバーサルな歩行者ナビゲーションの実現までの道程と今後の展開」
大西 啓介(株式会社 ナビタイムジャパン 代表取締役 社長)
- 15:30～16:00 休憩
- 16:00～17:30 「全国共同利用施設記念式典」
- 18:00～19:30 「全国共同利用施設記念祝賀会」

「CSIS 研究活動紹介」セッションの発表リスト

- 空間の情報と空間的思考, 石川徹 (CSIS)
- 空間情報を活用した自動車と公共交通の通勤不平等性分析, 河端瑞貴 (CSIS)
- 阪神高速道路における交通データウェアハウスの活用 —障害継続時間に対するデータマイニング—, 河野浩之*1, 石井康裕*2, 高田裕之*2, 久利良夫*3 (*1 南山大/CSIS, *2 阪神高速道路株式会社, *3 阪神高速道路管理技術センター)
- オントロジーによる土地分類体系の解析 —OWL (Web Ontology Language) の活用事例—, 織田竜也, 高野誠二, 小花和宏之, 近藤恵美, 小口高, 柴崎亮介 (CSIS)
- オントロジーを利用した地球環境情報の共有に関する研究, 長井正彦, 立塚滋充, 織田竜也, 高野誠二, 小花和宏之, 近藤恵美, 柴崎亮介, 小口高 (CSIS)
- 地球環境情報の共有を目指したオントロジー構築に関する研究, 立塚滋充, 長井正彦, 柴崎亮介 (CSIS)
- 位置情報を用いたメタ情報の分散共有と意味推論の研究, 角田忠信*1, 瀬崎薫*2 (*1 東大, *2 CSIS)

2006年10月5日(木): 2日目のプログラム(暫定版)

— CSIS DAYS 2006 —

全日(午前9時半～午後6時):「全国共同利用研究発表大会」セッション

9:30～9:40 開会のあいさつ

9:40～11:50 全国共同利用研究発表大会セッション(第1部)

【A:人口】(4件), 【B:都市環境】(8件), 【C:自然環境と土地利用】(7件)

9:40～11:15 口頭発表セッション(1件5分, 19件)

11:15～11:55 ポスター発表

11:55～13:00 休憩(昼食)

13:00～15:10 全国共同利用研究発表大会セッション(第2部)

【D:居住と自然環境】(5件), 【E:教育と参加型GIS】(5件), 【F:安心・安全】(8件)

13:00～14:30 口頭発表セッション(1件5分, 18件)

14:30～15:10 ポスター発表

15:10～15:40 休憩

15:40～17:50 全国共同利用研究発表大会セッション(第3部)

【G:地図学とモデリング】(5件), 【H:Web GIS】(6件), 【I:ツール】(7件)

15:40～17:10 口頭発表セッション(1件5分, 18件)

17:10～17:50 ポスター発表

17:50～18:00 閉会のあいさつ

「全国共同利用研究発表大会」セッションの発表リスト

【A:人口】(5日午前)

- (A1) 福岡市における高齢化の進行と住宅地の持続に関する研究 —将来人口推計を用いた分析から—, 長沼佐枝*1, 荒井良雄*2, 江崎雄治*3 (*1 早稲田大, *2 東大, *3 専修大学)
- (A2) 首都圏における自然社会別メッシュ人口変化の分析, 小池司朗, 山内昌和 (国立社会保障・人口問題研究所)
- (A3) メッシュ単位の将来人口推計モデル開発の可能性, 土屋貴佳*1, 室町泰徳*2 (*1 企画開発, *2 東京工業大)
- (A4) 人口減少期における都市空間構造の変容に関する研究, 大西隆*1, 瀬田史彦*1, 片山健介*1, 菅正史*1, 金昶基*1, 王光益*2, 李奉錫*1 (*1 東大, *2 国土研究院)

【B:都市環境】(5日午前)

- (B1) 日本におけるフードデザート問題の進展, 駒木伸比古*1, 岩間信之*2, 佐々木緑*3, 田中耕市*4 (*1 筑波大, *2 関東学園大, *3 CSIS, *4 徳島大)
- (B2) 1990年代の東京都心における都市空間利用の変容と高度化 —建物形状データを利用して—, 田中耕市 (徳島大)
- (B3) 中心市街地とその郊外部における商業活動の分析 —国道16号沿線地域を対象に—, 猪俣昌也*1, 小松芳樹*2, 伊藤香織*1 (*1 東京理科大, *2 新日鉄都市開発, *3 東京理科大)
- (B4) 都道府県データを用いた地域労働市場の分析 —失業・無業の地域間格差に関する考察—, 勇上和史 (労働政策研究・研修機構)
- (B5) A Method to Model Neighborhood Interactions in Geo-simulation of Urbanization Processes
Yaolong ZHAO and Yuji MURAYAMA (筑波大)
- (B6) School Attendance Areas and GIS, Fatemeh AHMADI NEJAD MASOULEH (筑波大)

- (B7) 望ましい水環境の統合的評価と実現, 花木啓祐*1, 浅見泰司*2, 大塚佳臣*1 (*1 東大, *2 CSIS)
- (B8) 住まいの近隣環境と近隣環境認知, 日常生活行動との関連, 李廷秀*1, 浅見泰司*2, 片岡裕介*2, 川久保清*3, 森克美*1, 梅崎昌裕*1, 山内太郎*1, 高木廣文*4, 下光輝一*5, 井上茂*5, 春名由一郎*6, 砂川博史*7 (*1 東大, *2 CSIS, *3 共立女子大, *4 東邦大, *5 東京医科大, *6 高齢・障害者雇用支援機構, *7 荻健康福祉センター)

【C:自然環境と土地利用】(5日午前)

- (C1) 大学キャンパスを中心とした地域の緑環境と文化環境の関係, 菊池佐智子, 輿水肇 (明大)
- (C2) 環境ケイパビリティによる最適な森林バイオマス発電の決定モデル —ケイパビリティ・インデックスによる実証分析への試論—, 南部鶴彦*1, 杉原弘恭*2, 生駒依子*2 (*1 学習院大, *2 日本政策投資銀行 地域政策研究センター)
- (C3) 高精度DEMと衛星画像による耕作放棄地の分析 —伊豆半島および伊豆市藤沢地区の事例—, 鈴木厚志, 高田明典 (立正大)
- (C4) Land use change analysis using remote sensing and GIS: A Case Study of Kathmandu Metropolitan, Nepal, Rajesh Bahadur THAPA and Yuji MURAYAMA (筑波大)
- (C5) 森林渓流水の水質調査地点の選定と水質形成要因の分析に関する研究, 川崎昭如, 藤巻玲路, 酒井暁子, 金子慶之, 金子信博, 佐土原聡 (横浜国大)
- (C6) データマイニングを用いた地すべり発生流域推定モデルの構築 —赤石山脈を対象として—, 斉藤仁, 中山大地, 松山洋 (首都大学東京)
- (C7) 迅速測図・米軍写真を活用した土地被覆(植生)変化の把握, 小荒井衛*1, 長谷川裕之*1, 杉村尚*2, 吉田剛司*2 (*1 国土地理院, *2 自然環境研究センター)

【D: 居住と自然環境】(5 日午後)

- (D1) 河川区間と集水域に着目した人口分布の分析, 山下亜紀郎*1, 村山祐司*2, 森本健弘*2, 藤田和史*2, 渡邊敬逸*2 (*1 酪農学園大, *2 筑波大)
- (D2) 流域圏を視点にした持続可能な人口規模の試算と GIS の活用に関する研究 —わが国における首都圏, 近畿圏, 中部圏での流域環境容量の試算を通して—, 大西文秀 (竹中工務店)
- (D3) 農業集落カードを活用した環境と人間活動の關係の分析, 森本健弘*1, 村山祐司*1, 山下亜紀郎*2, 藤田和史*1, 渡邊敬逸*1 (*1 筑波大, *2 酪農学園大)
- (D4) デジタルデータを活用した旧市町村界復元手法に関する研究, 藤田和史*1, 村山祐司*1, 森本健弘*1, 山下亜紀郎*2, 渡邊敬逸*1 (*1 筑波大, *2 酪農学園大)
- (D5) 『明治 24 年 徴発物件一覧表』を利用した人口分布の分析, 渡邊敬逸*1, 村山祐司*1, 森本健弘*1, 山下亜紀郎*2, 藤田和史*1 (*1 筑波大, *2 酪農学園大)

【E: 教育と参加型 GIS】(5 日午後)

- (E1) 大学初年次の少人数ゼミにおける GIS を用いた地域調査 —「食産業マップ」の作成—, 米澤千夏 (宮城大)
- (E2) 遠隔教育システムによる GIS 教育環境の構築, 酒井聡一, 後藤真太郎, 山下倫範, 櫻井広幸 (立正大)
- (E3) 「市民参加型 GIS」の可能性と課題 —「GIS 利用定着化事業」の取組みから—, 石垣和子 (国土交通省)
- (E4) 流域の統合的把握と住民合意参加を可能とする流域環境協働プラットフォームの構築 —神奈川拡大流域圏での実践的活用—, 佐藤裕一, 佐土原聡 (横浜国大)
- (E5) 市民活動における GIS 普及手法の研究 —講としての荒川流域一斉水質調査・熊谷うちわ祭の事例から—, 川村尚子, 後藤真太郎, 酒井聡一 (立正大)

【F: 安心・安全】(5 日午後)

- (F1) 小学校欠席率によるインフルエンザ地域病勢等高線図の作成, 竹中ゆかり*1, 片岡裕介*2, 浅見泰司*3, 郡山一明*1*4 (*1 救急救命九州研修所, *2 東大, *3 CSIS, *4 北九州市危機管理参与)
- (F2) AIDS and the City: Examining the Spatial Characteristic of the HIV/AIDS Pandemic in Nairobi, Moses Murimi NGIGI and Yuji MURAYAMA (筑波大)
- (F3) 名古屋市に対する震災総合シミュレーションシステムの適用, 伊藤暢浩*1, 夏目恵介*2, 竹内郁雄*3 (*1 愛知工大, *2 名古屋工大, *3 東大)
- (F4) Single Display Groupware を応用した災害避難者情報収集システム, 上田真史, 竹内郁雄 (東大)
- (F5) 災害対応システム MazThunderbird(仮)の開発, 藁科光徳, 小池英之, 村崎大輔, 塩田修平, 竹内郁雄 (東大)
- (F6) 電子タグを利用した測位と安全・安心の確保 —電子タグを利用したシームレス測位・効率的な測量システムの開発—, 神谷泉, 小荒井衛, 松坂茂, 平井英明, 田中愛幸 (国土地理院)
- (F7) 犯罪発生の変化の視覚化 —犯罪抑止成果マップ—, 島田貴仁*1, 遠塚昌瑞*2, 齊藤知範*1, 井上泰伸*1*2, 原田豊*1 (*1 科学警察研究所, *2 警視庁)

- (F8) 子どもの粗暴犯罪の被害リスクの推定と地図表現に関する研究 —デュアル・カーネル密度推定の手法の導入—, 齊藤知範, 島田貴仁, 井上泰伸, 原田豊(科学警察研究所)

【G: 地図学とモデリング】(5 日午後)

- (G1) 入れ子型段階区分の設計とその視覚記号表現に関する研究, 森田喬, 岸智夫 (法政大)
- (G2) 災害時における意思決定支援のための Risk Based Decision Making と Common Operation Picture による広域災害の対応の提案, 石田恵一 (ABS コンサルティング)
- (G3) 航空レーザ測量による「数値地図 5m メッシュ(標高)」等の整備と利活用について, 大塚孝泰 (国土地理院)
- (G4) 電子国土情報の生成に関する一考察, 菅雄三*1, 北野幸宏*1, 阿曾沼和義*1, 小西智久*2 (1 広島工大, 2 日本キャディック)
- (G5) 河川 GIS・河川アプリケーション標準インタフェースの構築, 藤山秀章*1, 小川鶴蔵*2, 石井邦宙*3 (*1 国土交通省, *2 河川情報センター, *3 国際航業)

【H: Web GIS】(5 日午後)

- (H1) 電子国土情報集約システムについて, 河瀬和重, 村岡清隆 (国土地理院)
- (H2) 市町村界の変遷を表示する Web GIS (明治 22 年～平成 18 年), 上江洲朝彦, 村山祐司, 尾野久二 (筑波大)
- (H3) キャンパス GIS 構築に向けた大学施設・環境情報のデータベース化, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 池見洋明, 向上啓 (九大)
- (H4) Web Photogrammetry —ステレオ画像配信システムと Web 計測環境の構築—, 野中秀樹, 土居原健, 内田修 (アジア航測)
- (H5) ベクタデータの変化履歴管理と応用 Web アプリ開発に関する研究 —横浜市栄区町丁目界変遷と統計人口を事例として—, 方吉, 佐土原聡, 吉田聡 (横浜国大)
- (H6) 災害エスノグラフィーを活用した危機管理のための空間データベースの標準設計, 朴英眞, 王勁, 佐土原聡 (横浜国大)

【I: ツール】(5 日午後)

- (I1) OPeNDAP と GIS を利用する海難事故データ分析システムの構築, 武市祥司, 宍戸恵一郎 (東大)
- (I2) 事業所特性に基づく全国小地域クラスタリング —‘Geo-business-graphics’—, 桐村喬, 中谷友樹, 矢野桂司 (立命館大)
- (I3) 時・空間 GIS 三次元斜面崩壊予測システムの開発, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 池見洋明, 邱騁 (九大)
- (I4) 地下探掘と地表の地盤環境保全のための GIS 地盤沈下予測ツールの開発, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 池見洋明, Djamaluddin Ibrahim (九大)
- (I5) 森林火災延焼シミュレーションシステムの構築 —広域北方林を対象として—, 本間利久, 木村圭司 (北大)
- (I6) 地域分析手法の空間データマイニング・ツールへの導入の試み, 生駒依子*1, 杉原弘恭*1, 山下潤*2 (*1 日本政策投資銀行 地域政策研究センター, *2 九大)
- (I7) ネットワーク空間分析ソフトウェアツール SANET Ver. 3 の開発研究, 塩出志乃*1, 奥貫圭一*2, 岡部篤行*3, 金子忠明*3, 岡野京子 (*1 CSIS, *2 名古屋, *3 東大)